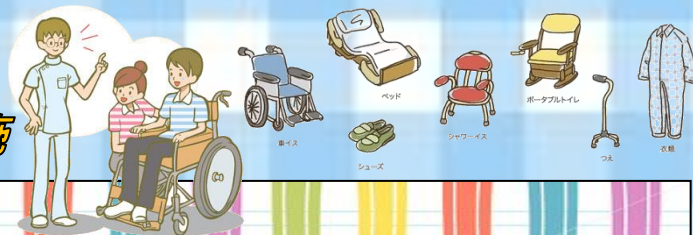


職員研修より

職員は月に数回、法人または事業所別の内部研修を受講し、日頃の支援に役立つように学んでいます。その一部をお伝えしたいと思います。

介護技術研修 11月・12月実施



専門的な介護技術を習得することで、利用者様にとっては安楽で苦痛のない介護を受けることができ、職員にとっても身体に負担の少ない方法で支援できるようになることを目的としています。

研修の感想

- ・車椅子の乗り心地を体験し、なるべく安楽な姿勢を保持してあげたいと思いました。
- ・ちょっとしたコツでいかに利用者様も支援者も楽になるのかを知ることができました。
- ・わかっていたつもりでしたが、更に勉強が必要だと感じました。



研修の様子

リスクマネジメント研修 12月に2回実施

日頃の支援の中で起こりうる危険な要因を予知することで、事故を未然に防いだり、最小限に留めることができるようになることを目的としています。受講者は、介護現場のイラスト事例を用い、危険な要因とその対策をグループで討議、危険予知の訓練となりました。



研修の様子

法人防災訓練

さる 11/15 (火) に法人防災訓練を実施しました。今年は北海道にも甚大な被害をもたらした台風からイメージされた、「大雨の影響できのこセンター周辺の土砂が崩れ、職員3名が埋まった」との共通テーマを基に、利用者様は無事！水は出る！停電もなし！の設定でありましたので、職員の動きを中心にした訓練です。計画通りに第一報が入ると、本部長（統括管理者）、班長（各管理者）の指示により、各々の役割に応じた体制に入りました。事務職員は被災情報発信・周知、救助隊に選ばれた職員は簡易担架の組み立てや要救助者の搬送、また、情報共有を目的とした伝言ダイヤルの“再生”を体験しました。昨年の反省をふまえ、“情報を確認してから指示通りに行動する”ことを心がけました。

訓練の最後に、災害対策委員はガスヒートポンプエアコン（GHP）装置、井水タンクの確認を行いました。

反省会では、利用者様や職員の安否報告の仕方、防災グッズへの意見、救出の際の指示について様々な意見が出され、今後、各事業所で検討することになりました。



訓練の様子